

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)

【公開番号】特開 2018-77753 (P2018-77753A)

【公開日】平成 30 年 5 月 17 日 (2018.5.17)

【年通号数】公開・登録公報 2018-018

【出願番号】特願 2016-220401 (P2016-220401)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 3 5 6

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/00 H

H 0 4 N 1/00 C

G 0 6 F 3/12 3 0 3

G 0 6 F 3/12 3 7 4

G 0 6 F 3/12 3 6 4

G 0 6 F 3/12 3 5 9

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 11 日 (2019.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像形成されたシートに対して、後処理部材を交換して異なる後処理を実行可能な後処理装置が接続される画像形成装置に対して印刷ジョブを送信する情報処理装置であって、

前記画像形成装置から受信する後処理部材に関する情報に基づいて、前記画像形成装置へ送信すべき印刷ジョブに指定された後処理に対応する後処理部材が前記後処理装置に装着されていないと判断した場合、前記画像形成装置に対して前記印刷ジョブを送信しないよう制御する制御手段を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記印刷ジョブで指定された後処理に対応する後処理部材が装着されている場合、前記制御手段は、前記印刷ジョブを前記画像形成装置に送信することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記印刷ジョブで指定された後処理に対応する後処理部材が装着されていないと判断した場合、前記情報処理装置へ前記印刷ジョブを送信してきたデータ処理装置に対して、前記後処理部材の変更を促す指示を送信することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記印刷ジョブに指定された後処理に対応する後処理部材が装着されていないと判断した場合、前記情報処理装置へ前記印刷ジョブを送信してきたデータ処理

装置に対して、前記印刷ジョブの取消及び後処理部材の変更を促す指示を送信することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記後処理部材の変更を促す指示を送信した後、前記後処理に対応する後処理部材が前記後処理装置に装着されることが判断されると、前記印刷ジョブを前記画像形成装置に送信することを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記制御手段は、前記後処理部材の変更を促す指示に対する前記データ処理装置からの応答が前記印刷ジョブの取消である場合、受信した前記印刷ジョブを取り消すことを特徴とする請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記制御手段は、前記印刷ジョブで指定された後処理に対応する後処理部材が装着されていないと判断した場合、前記印刷ジョブをキャンセルすることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記印刷ジョブで指定された後処理に対応する後処理部材が装着されていない場合に、前記情報処理装置へ前記印刷ジョブを送信してきたデータ処理装置に対して前記後処理部材の変更を促す指示を送信するか、前記後処理部材の変更を待つことなく前記印刷ジョブをキャンセルするかを予め設定する設定手段を有し、

前記制御手段は、前記印刷ジョブで指定された後処理に対応する後処理部材が装着されていない場合に、前記設定手段により予め設定された内容に従って前記指示を送信するか前記印刷ジョブをキャンセルするかを決定することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記後処理装置は、前記後処理部材として、シートにパンチ処理を行うためのパンチダイ或いはシートに筋付けを行うクリースダイを装着でき、

前記制御手段は、前記パンチダイ或いは前記クリースダイへの交換を表す指示を送信することを特徴とする請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記画像形成装置に装着される後処理部材の名称が前記画像形成装置に登録されており、

前記制御手段は、前記印刷ジョブに指定された後処理条件に従う後処理部材名称と、前記画像形成装置から取得する装着されている後処理部材の後処理部材名称とが一致するかどうかを判断して、前記画像形成装置に対して前記印刷ジョブに基づく印刷データを送信するかどうかを制御する制御手段を備えることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

画像形成されたシートに対して、後処理部材を交換して異なる後処理を実行可能な後処理装置が接続される画像形成装置と、印刷ジョブを前記画像形成装置へ送信する情報処理装置とを有する印刷システムであって、

前記情報処理装置は、

前記画像形成装置から受信する後処理部材に関する情報に基づいて、前記画像形成装置へ送信すべき印刷ジョブに指定された後処理に対応する後処理部材が前記後処理装置に装着されていないと判断した場合、前記画像形成装置に対して前記印刷ジョブを送信しないよう制御する制御手段を備えることを特徴とする印刷システム。

【請求項 12】

画像形成されたシートに対して、後処理部材を交換して異なる後処理を実行可能な後処理装置が接続される画像形成装置に対して印刷ジョブを送信する情報処理装置の制御方法であって、

前記画像形成装置から受信する後処理部材に関する情報に基づいて、前記画像形成装置

へ送信すべき印刷ジョブに指定された後処理に対応する後処理部材が前記後処理装置に装着されていないと判断した場合、前記画像形成装置に対して前記印刷ジョブを送信しないよう制御する制御工程を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の情報処理装置の制御方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成する本発明の情報処理装置は以下に示す構成を備える。

画像形成されたシートに対して、後処理部材を交換して異なる後処理を実行可能な後処理装置が接続される画像形成装置に対して印刷ジョブを送信する情報処理装置であって、前記画像形成装置から受信する後処理部材に関する情報に基づいて、前記画像形成装置へ送信すべき印刷ジョブに指定された後処理に対応する後処理部材が前記後処理装置に装着されていないと判断した場合、前記画像形成装置に対して前記印刷ジョブを送信しないよう制御する制御手段を備えることを特徴とする。